

桃の葉パワーで課題解決！

～農業と甲府市の活性化～

山梨県立甲府第一高等学校 3年

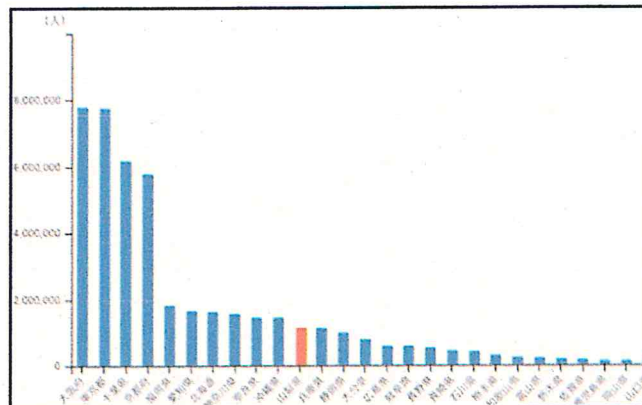
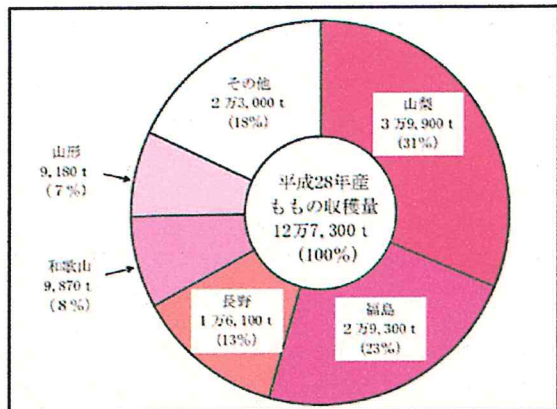
中澤那由多

# 1.はじめに

私が考える山梨県の大きな魅力として、桃やぶどうの生産量が1位といった果樹産業が発展していること(図1)、日本最高峰である富士山の所在地であり、多くの観光客が訪れているということが挙げられる。山梨県は2016年度都道府県別外国人訪問者数が47都道府県中11位だった(図2)。政令指定都市がある県が上位に並ぶなか、11位というのは高い順位であると言える。

図1 ももの都道府県別収穫量

図2 2016年度都道府県別外国人訪問者数



(出典: 農林水産省平成28年度 もも・すももの結果樹面積収穫量及び収穫量) <http://www.maff.go.jp>

(出典: 地域経済分析システム (RESAS))

<https://resas.go.jp/tourism-foreigners/#/from:visitor/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128917/19/19201/0/2016/1/-/1>

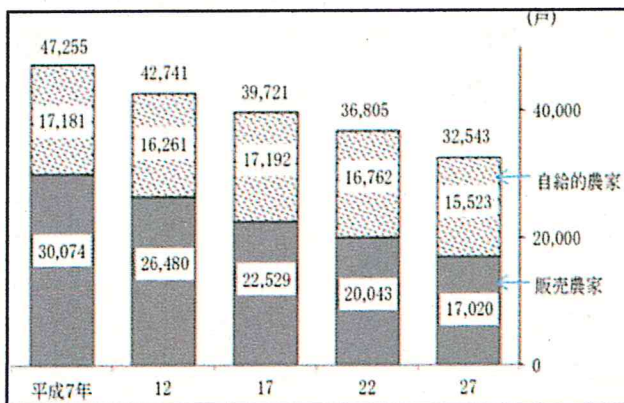
## 2.山梨県の抱える課題

### ①農業の衰退

前述のように「フルーツ王国」として知られる山梨県だが農家の高齢化や後継者不足、他県産果物の台頭による売り上げの低下など衰退化の課題を抱えている。

#### (a)農家数の減少

図3 農家数の推移 (山梨県)



山梨県の農家数は年々減少しており、2015年度では 32,543 戸で、2010年度より4,262 戸 (11.6%) 減少している。

出典: 農林水産省 農林業センサス2015

[http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/HP/DATA/2015nourin\\_1.pdf](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/DATA/2015nourin_1.pdf)

#### (b)農家の高齢化

図4 年齢別農業就業人口の構成 (山梨県)

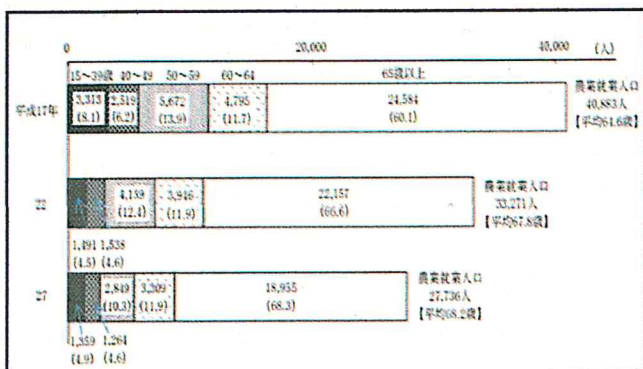
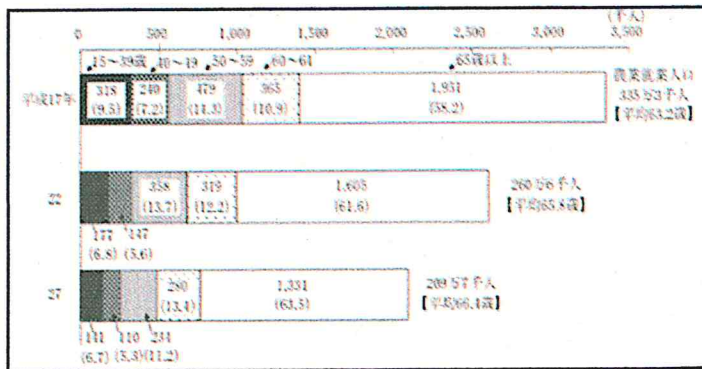


図5 年齢別農業就業人口の構成 (全国)

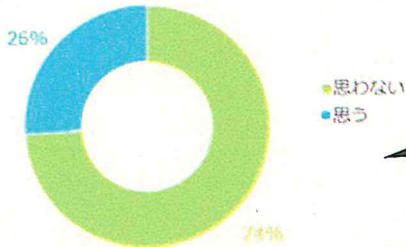


出典: 農林水産省 農林業センサス2015 [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/HP/DATA/2015nourin\\_1.pdf](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/DATA/2015nourin_1.pdf)

図4より山梨県の2015年農業就業人口の平均年齢は68.2歳となり、65歳以上が占める割合は68.3%となった。また、農業就業人口が減少しているのにも関わらず65歳以上の割合が上昇しており、就農する若者が少ないことがわかる。さらに、図5より全国の2015年農業就業人口の平均年齢は66.4歳、65歳以上が占める割合は63.5%であり、山梨県の農家の高齢化は他県より進行していることがわかる。

農家数の減少の要因は小規模農家の農業者が集落営農組織へ参加したことも考えられるが、農家の高齢化の進行状況から高齢化による離農が大きいと考えられる。そして、後継者が不足している要因は「若者の農業離れ」、「興味はあっても収入面の不安から就農に踏み出せないでいる」ということが挙げられる。

仕事として農業をやりたいと思いますか



2017年に農業情報インフラの創出・構築を行っている株式会社アグリ・コミュニティによって行われた100人の男女を対象にしたアンケートによると、100人中74人が仕事として農業をやりたいとは「思わない」と答えた。

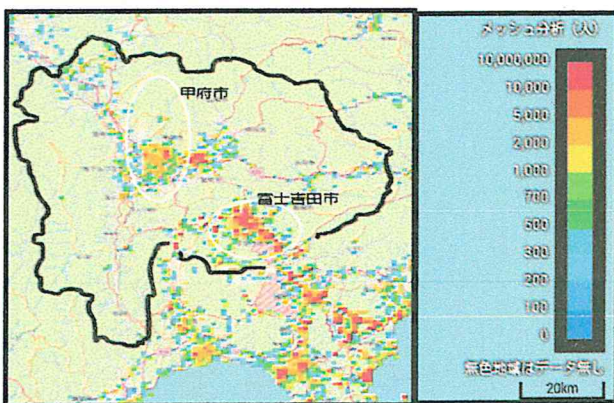
〈出典：農業求人めぐりナビ <https://www.agri-navi.com/cat41/cat45/4002>〉

また、農林水産省の統計によると全国の果樹農家で労働1時間当たりの平均所得は2014年が690円で1996年の1066円と比べると376円減っており、後継者の登場を阻む要因となっている。

「農家のこれからは厳しい。金にならない」。2011年夏、南アルプス市西野の小野一三さん(83)は、自宅を訪れた社員の婿に切り出した。以前から「退職後は、いづれ果樹栽培をやりたい」と相談され、どう答えればいいか考えてきた。産地を継いでほしいという思いはある。ただ…。悩んだ結果、「生活を考えれば、農業はやらない方がいい」と伝えた。(坂本一真『山梨日日新聞』2016.7.31 やまなし「農」の風景<1>第1部 守り継ぐために)

以上のことから今の農業に必要なことは「多くの人に農業の魅力を伝えること」、「山梨県の農作物を全国にアピールし農家の収入を上げること」だと考える。

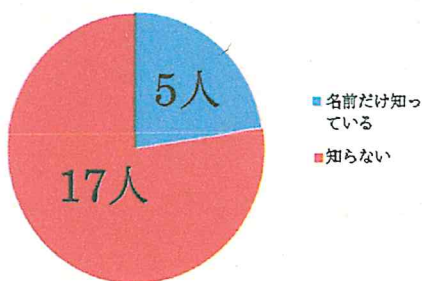
②甲府市の衰退



前述の通り山梨県は2016年度都道府県別外国人訪問者ランキング11位であるが、左図からわかるように観光客は富士山方面に集中している。

(2015年8月～2016年7月) 出典：地域経済分析システム (RESAS) <https://resas.go.jp/tourism-mesh-foreigner/#/map/8.994353436858858/35.604321455/138.83077785/19/19201/1/0>

また、2017年7月26日、実際に富士吉田市にある河口湖駅で外国人観光客にアンケートを行った。



「甲府市を知っていますか」という質問に「知っている」と答えたのは22人中わずか5人だった。

「知っている」と答えた人も名前を地図で見たことがある程度だった。このままでは山梨県といったら富士山という印象だけが強く根付いてしまい、県庁所在地である甲府市の認知度は低下していく一方なのではないだろうか。まずは甲府市で話題性のあるイベントを開き、認知度を上げることが必要だと考える。



### 3. 課題解決に向けて行った活動

昨年、私は甲府駅付近の商店街（朝日通り）にあるパン屋に協力していただき、山梨県産の桃と朝日通りのシンボルツリーであるハナミズキの酵母を使用した桃のパン・プディング（写真1）を作製した。桃は、かねてから私の活動に協力してくださっていた農家にはね出しのものを提供していただいた。作製にあたっては何度も試食を繰り返し、味と見た目にこだわった。そしてそれを8月5日、朝日通りで行われた夏祭りで限定30個で販売した（写真2）。ただ売るだけで終わらないようにさまざまな工夫をした。

写真1（旗は甲府第一高校のマスコット「とびらん」）



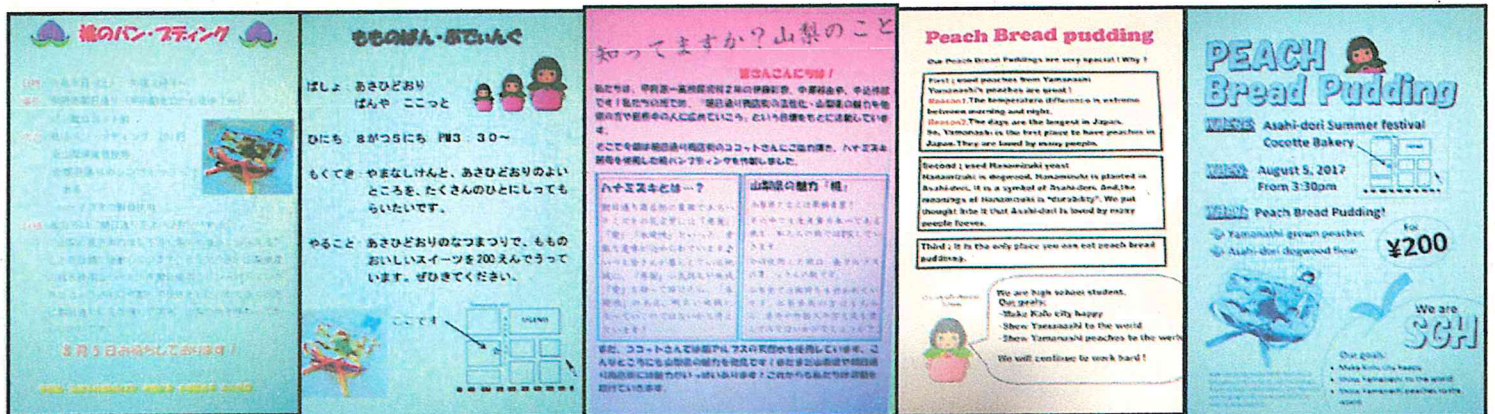
写真2



写真3



まず、チラシ作成をした。夏祭りに来てもらう為の宣伝のチラシ（日本語版・英語版・ひらがな版）、来て頂いた方に配るチラシ（日本語版・英語版）の計5種類作成した。外国の方にも来ていただくため、英語版も作成した。読む人のことを考えて、文字数にも考慮した。来ていただいた方へのチラシには、山梨や朝日通りのことをもっと知ってもらう為に山梨県の果樹産業の説明や商店街の説明を入れた。



私の活動はあくまでも山梨県の農業と朝日通りをもっと多くの人に深く知ってもらうことなので、このチラシ作成は非常に重要だった。来ていただく為の宣伝のチラシは山梨大学、山梨県立大学、日本語学校ユニタス、に置いていただいた。また、2017年7月26日に河口湖駅で外国人観光客にチラシを配った。しかし、その日のうちにもう県外へ出てしまう観光客が多く、効果的な宣伝には繋がらなかった。山梨県を訪れる観光客の多くが富士山周辺のみを観光して帰ってしまっている現状を再確認できた。さらに、自分たちで作った桃のスムージーを移動販売車で主に河口湖駅で販売している農家に協力して頂き、私達のチラシを置いていただいたり、facebookで宣伝をしていただいたりした。次に、活動を山梨日日新聞に取り上げていただいた（写真3）。やはり新聞は影響力が大きく、夏祭り当日も新聞を見て来てくれた方が多かった。そして当日も多くの人に山梨県の農業や朝日通りについて知ってもらう為に、それらについてのポスターも作成し屋台の横に貼った。さまざまな宣伝が実を結び、予想より多くの方が桃のパン・プディングに足を運んでくれて予定の30個は10分程度で完売してしまったため、急遽追加で50個作っていただいた。放送もさせていただき、多くの人にこの活動を知っていただくことができた。さらに、市役所や農家の方が直接私達に話しかけてくださり、何かあったら協力すると名刺をいただいた。そして、若者がこのような活動をしていて頼もしいと言ってくくださった。

### 4. 考察

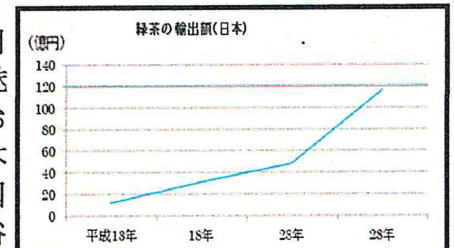
この活動は、高校生と商店街がコラボするという点で話題性を作り出せたという点では良かった。しかし地元の方にしか興味を持ってもらえなかったことが反省点として挙げられる。

付近の大学等で外国人留学生へチラシによる宣伝を行ったのにも関わらず夏祭りには来てもらえなかったことから「外国人にとって桃のパン・プディングはインパクトが小さかった」、「日本語を十分に話せない人にとってはハードルが高かった」という要因が考えられる。また、宣伝方法については、もっとSNSを活用すべきだったと考える。もし観光客が次の目的地を決める前にSNSを通じて夏祭りのことを知る機会があったら足を運んでくれた方がいたかもしれない。さらに今回は、山梨県の果樹産業についてのポスターを作成し掲示はしたが、「桃のパン・プディングを売る」ということがメインとなってしまった。もっと山梨県の農業をアピールできるような工夫をするべきだったと考える。

ゆえに今後は「外国人にも興味を持ってもらえて気軽に足を運べる」かつ「農業の活性化が図れる」企画が新たに必要であり、宣伝方法もSNSを上手く利用するなど工夫する必要がある。

## 5. 新たなアイデア

桃といえば多くの人には果実を考えるとところだが今回は桃の“葉”に注目した。桃の葉には皮膚炎解消や便秘解消などさまざまな効能があり、古来より薬草として親しまれてきた。しかし桃の葉の多くは有効活用されずにいる。私達はそんな桃の葉を使用した、お茶、入浴剤、化粧水、ハンドクリームなどを開発し、山梨県の魅力の一つとして売り出すことを提案する。世界で健康ブームが起こっており、日本の緑茶の輸出額も増加している現在（右図）「桃の葉茶」は日本人だけでなく外国人にも興味を持ってもらえると考えた。桃の生産量全国一位の山梨県ならではのお茶である。さらに桃の葉の効能を活かして入浴剤、化粧水、ハンドクリームなど、健康・美容に関するものを製作しシリーズ化することでより多くの人に知ってもらいやすくなると考えた。これらを販売することで山梨県の桃の認知度、また、桃自体の売り上げ向上にもつながる。製作・販売には農業に従事する女性にも携わっていただくことで、女性の長所・特質を活かしより良い商品を製作することができる。とともに、農家と消費者の距離を縮め消費者の農業への理解を深めることができる。



出典：農林水産省ホームページ(財務省貿易統計) [http://www.maff.go.jp/pr/aff/1704/spe1\\_02.html](http://www.maff.go.jp/pr/aff/1704/spe1_02.html)

また、より農家と消費者の距離を縮めるため、販売するだけでなく桃の葉化粧水の手作り体験教室も開く。なお、この手作り体験は朝日通りで行う。海外に目を向けると、2020年の東京オリンピックに際して訪日外国人の増加が見込まれる。したがって甲府市に必要なことの一つとして観光客が楽しめるアクティビティを増やすことが挙げられる。国内だけでなく、海外からの山梨県の認知度向上も図る。もちろん、地域住民も気軽に参加できるようにする。また宣伝は主にSNSを通じて行う。

このプランでは製作や販売、手作り体験教室などを通して農家と消費者の距離を縮めることができるため、人々の農業自体への関心を高められる。また、通常は売り物にしない桃の葉で商品を製作し販売することで農業活性化に必要な「農家の収入の増加」が見込める。さらに甲府駅周辺で手作り体験教室を開くことによって甲府を訪れた観光客により楽しんでもらえる。それにより、また来たいと思ってもらえ甲府への観光客の増加が見込める。ゆえに私達のプランは課題解決につながると言える。

## 6. おわりに

私がこれまでの活動の中で一番心に残っているのは、朝日通り商店街の会長に言っていた「君達のような若者がいたのもしい。甲府の未来は明るい。」という言葉である。これまで私は、私のようなただの高校生ができることなんて限られている、私に何かを変えることなどできない、と考えていた。しかし実際に行動に移してみるとたくさんの大人が協力してくださり、私にもできることはある、高校生だからこそできることもある、ということに気がついた。この先の未来を担っていくのは私達若者である。明るい未来を創るためには私達のような若者が、社会が抱える課題に興味を持ち探究していくことが必要であると考え。そのため、私は今後も朝日通りでの活動も行いつつ、協力してくださる農家と話を進めたり、実際に行政にプランを提案したりして、地元である山梨の課題解決に努めたい。

### 参考文献

- ・農林水産省 平成28年度 もも・すももの結果樹面積収穫量及び収穫量 <http://www.maff.go.jp>
- ・農林水産省 農業センサス2015 [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/HP/DATA/2015nourin\\_1.pdf](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/DATA/2015nourin_1.pdf)
- ・農林水産省ホームページ(財務省貿易統計) [http://www.maff.go.jp/pr/aff/1704/spe1\\_02.html](http://www.maff.go.jp/pr/aff/1704/spe1_02.html)
- ・地域経済分析システム (RESAS) <https://resas.go.jp/tourism-foreigners/#/from-visitor/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128917/19/19201/0/2016/1/1-1>
- ・農業求人のでぐりナビ <https://www.agri-navi.com/cat41/cat45/4002>
- ・手島佐枝子(2003)『自然素材でつくる ナチュラルスキンケア』